

# 日本図書館情報学会会報

No.145 【Web版】

2012年4月

日本図書館情報学会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室内

E-mail : office@jslis.jp (新しくなりました)

ホームページ : <http://www.jslis.jp/> (新しくなりました)

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 新年度にあたって

会長 根本 彰

新しい年度(2012年度)になりました。大震災から丸一年がすぎてようやく落ち着きをとり戻してきたところもありますが、この災害はまだ終わったとはいは言いがたく、また、当学会への影響も小さくないと思われま

す。たとえば、この会報でお伝えしている春季研究集会は、三重県津市の三重大学で初めて開催されます。そこでは春季として最大規模の33件の発表が予定されています。そのなかには昨年実施した震災に関する特別研究支援によるものも含まれていますが、それだけでは説明できない会員諸氏による研究発表の高まりを感じます。願わくばこれらの発表がその後論文として展開され、学会誌への投稿にまで進んでいただくことを期待します。

さて、図書館情報学検定試験については昨年11月27日にあつて261人の受験がありました。今期3年間で500人の受験者を目標としているものとしては、まだまだ少ないと言わざるをえません。今年度は受験者が受けやすいようにするためにいくつか新しい方法を提案したいと考えております。11月25日(日)に実施予定ですので、皆様のご予定にも入れてくださることをお願いいたします。

最後に、本年は1953年設立の日本図書館情報学会にとって60年目にあたります。本学会は2003年に創立50年を行った関係もあつて来年度になりますが、あまり大げさにならない程度の特別の行事を組みたいと考えています。会員諸氏のご協力をお願い申し上げます。

## 2012年春季研究集会のご案内

会員各位

会長 根本 彰

2012年春季研究集会を、三重大学において、下記の要領で開催いたします。会員の皆様には奮ってご

参加くださいますよう、よろしく願いいたします。

参加を希望される方は、研究集会ウェブサイトで、所定の期日までにお申込みくださいますよう、お願いいたします。

### 記

日 時：2012年5月12日（土）10:30～17:15

場 所：三重大学 上浜キャンパス

<http://www.mie-u.ac.jp/campusmap/img/cMap.png>

住 所：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

最寄り駅 近鉄電車江戸橋駅徒歩 15 分

近鉄電車津駅「4 番」バス（06, 40, 51, 52, 53, 56 系統「大学病院前」下車）15 分  
タクシー10 分

参加費：正会員 2,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 3,000 円

申込締切：2012 年 5 月 5 日（土）

申込先：<http://lis.human.mie-u.ac.jp/jslis2012s/register.html>

※ なお、「氏名」、「所属」については、当日配布する「研究集会参加者名簿」に記載させていただく予定です。記載に不都合がおありの際は、備考欄にその旨を記入し、お知らせくださいますよう、よろしく願いいたします。

○ 「参加募集要項」「発表要旨」については、下記のアドレスにてご覧いただくことができます。

参加募集要項：<http://lis.human.mie-u.ac.jp/jslis2012s/apply.html>

発表要旨（プログラム）：<http://lis.human.mie-u.ac.jp/jslis2012s/program.html>

### 2012 年春季研究集会（三重大学）プログラム

	第一会場	第二会場	第三会場
10:30 ～ 11:00	國本千裕（千葉大学） レイ・エキスパートが有する「知識」の特徴	酒井麻里（筑波大学） 宇陀則彦（筑波大学） 松村敦（筑波大学） 佐藤翔（筑波大学） 逸村裕（筑波大学） 大学図書館職員を対象とした機関リポジトリに関する意識調査	鈴木裕（筑波大学） 渋井進（大学評価・学位授与機構） 芳鐘冬樹（筑波大学） 特許引用に関する重回帰分析：特許の被引用数に影響を与える要因の把握に向けて
11:00 ～ 11:30	小泉真理（筑波大学） 企業内専門図書館におけるインターネット普及後のサービスの变化について	川瀬直人（筑波大学） 大学図書館における研究開発の現状と課題	小野寺夏生（筑波大学） 引用持続性の異なる論文の間の比較： Sleeping beauties と Flashes in the pan はどんな特徴を持つか？
11:30 ～ 12:00	根来行介（埼玉県富士見市立中央図書館） SDI ヒット率向上に向けて：那須町立図書館での試み	松野渉（筑波大学） 本田咲美（筑波大学） 池内有為（筑波大学） 佐藤翔（筑波大学） 逸村裕（筑波大学） 大学附属図書館における貸出履歴の分析	横井慶子（東京工業大学附属図書館） 学術雑誌出版における出版者の役割： 物理学分野を中心に
12:00 ～ 13:00	昼休み（1 時間）		
13:00 ～ 13:30	須賀千絵（慶應義塾大学） 英国の公共図書館支援市民団体の組織と活動：Library Campaign と Voices for the Library を対象に	石過桃子（筑波大学） 水沼友宏（筑波大学） 池内淳（筑波大学） 大学図書館における Twitter の利用に関する実態調査	松崎博子（就実大学） 戦後日本における図書館員養成教育の成立過程について：アメリカ図書館学教育の影響

13:30 ～ 14:00	岡野裕行（皇學館大学） 中川清裕（三重県立図書館） 加藤桂子（三重県立図書館） 都道府県立図書館のあり方の検討手法について：三重県立図書館改革実行計画「明日の県立図書館」を事例として	宮田洋輔（慶應義塾大学） 石田栄美（九州大学）池内淳（筑波大学）安形輝（亜細亜大学） 上田修一（慶應義塾大学） 学術論文の構成要素と構造	根本彰（東京大学）青柳英治（明治大学）松本直樹（大妻女子大学） 図書館専門職養成の質向上のための予備的考察：「臨床心理士」「管理栄養士」の事例をもとにして
14:00 ～ 14:30	畔田暁子（筑波大学）小川杏奈（筑波大学）鈴木佳苗（筑波大学） 市区町村立図書館における子ども向け展示の方法の提案	石田栄美（九州大学）安形輝（亜細亜大学）宮田洋輔（慶應義塾大学）池内淳（筑波大学） 上田修一（慶應義塾大学） 学術論文に特化した検索エンジンの構築と評価	桂まに子（京都女子大学） 情報サービス演習と「レファレンスPOP」：発信型情報サービス向上の一助となる新ツールの開発
14:30 ～ 15:00	高田淳子（神奈川県立図書館） 公共図書館における情報リテラシー教育の枠組み：現況調査を基に	佐藤翔（筑波大学）大向一輝（国立情報学研究所）関戸麻衣（国立情報学研究所）逸村裕（筑波大学） アクセスログに基づく CiNii による本文提供とその利用状況の分析	角田裕之（鶴見大学） 書誌データ作成用スタンドアロン型情報資源組織演習システムの開発
15:00 ～ 15:15	休憩（15分）		
15:15 ～ 15:45	大谷康晴（日本女子大学） 安形輝（亜細亜大学）池内淳（筑波大学）大場博幸（常葉学園短期大学） 所蔵資料の類似性に基づく図書館の類型化	河西由美子（玉川大学） 東日本大震災被災学校における図書および図書館ニーズに関する調査研究	木村麻衣子（慶應義塾大学） 日本、中国、韓国、LC の中国人名・団体名典拠データの表記の相違点
15:45 ～ 16:15	小山祥恵（筑波大学）池内淳（筑波大学） 公共図書館における資料の紛失とその対応策に関する調査：ブックディテクションシステムの設置状況を中心として	石川由起子（玉川大学） 河西由美子（玉川大学） 文部科学省による「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」の評価：全国 20 地域成果報告書分析	谷口祥一（筑波大学） RDA を FRBR/FRAD から見る：RDA は新たなモデルか？
16:15 ～ 16:45	平山陽菜（筑波大学）池内淳（筑波大学） 図書館協議会に関する実態調査	庭井史絵（慶應義塾普通部／青山学院大学） 「学び方の指導」に関する小中学校教科書教材の検討：学習課題分析の観点から	外崎みゆき（信州大学） CATP 標準書式で自動生成した書誌を利用した電子書籍の効率的な提供：青空文庫の書誌データ作成プロセスと図書館システムにおける登録テスト
16:45 ～ 17:15	水沼友宏（筑波大学）池内淳（筑波大学） 学会ウェブサイトのアクセスログ分析：日本図書館情報学会ウェブサイトを対象として	中根 浩之（神奈川県立高校） 自由・平等・互恵の理念に基づいた学び共有地の枠組み：学びの共同体の活動場として	伴周一（日本大学）大久保尚紀（日本大学）岡田悟志（日本大学） 豊田陽己（日本大学） デジタルアーカイブ作成用箱形書籍撮影装置の高安定化・画像高品質化のための研究開発

\*所属の表示は、教職員（常勤／非常勤）・院生・学部生等を問わず、「機関名」（「大学」等）のみとしてあります。

## 研究助成の公募

研究委員会

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は次の要領で募集を行います。ふるってご応募ください。

## 記

### 1. 助成額

総額 30 万円を限度として、1 ないし 2 件に交付予定。

### 2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。なお、科研費等の公的研究助成の取得が難しい場合を配慮するので、例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」などの事情があれば、申込書の所定欄に記入すること。
- b. 2013 年 3 月末まで研究を終了させていること。
- c. 2013 年 3 月 31 日までに所定の用紙によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。ただし、領収書の提出は不要である。
- d. 研究終了後 3 年以内（2016 年 3 月まで）に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。

### 3. 選考

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に掲載する。

### 4. 応募方法

別紙「2012 年度図書館情報学会研究費助成申込書」に必要事項を記入のうえ、下記の宛先に郵便または電子メールで送付すること。申込書は学会ホームページから MS-Word ファイルおよび PDF ファイルで入手可能である。電子メールの場合は、添付ファイルで送付すること。電子ファイルでの提出が望ましい。

- ・ 郵送先：〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-24-10  
    亜細亜大学 安形輝 気付  
    日本図書館情報学会研究委員会
- ・ 電子メール：kenkyu@asia-u.ac.jp
- ・ 学会ホームページ：http://www.jslis.jp/

### 5. 応募締切

2012 年 6 月 1 日（金）必着

## 学会賞および学会奨励賞候補の募集

学会賞選考委員会

2012 年度の日本図書館情報学会賞および奨励賞の候補を下記のとおり、募集いたします。明朗で透明度の高い選考過程とするために、またこれもひとつのアカデミックフェスティバル、お祭りですから、会員各位の選考過程への積極的参加を歓迎します。応募論文を含む下記の選考対象論文につき、自薦・他薦を含む推薦をお願いいたします。そのときには、氏名を明示のうえ、簡潔で結構ですから、推薦理

由を付記してください。

## 記

### 1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞

### 2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員

### 3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2010 年度もしくは 2011 年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞
  - a. 『日本図書館情報学会誌』第 57 巻第 2 号から第 58 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による論文。
  - b. その他の研究業績については、学会賞に準じ、本学会正会員により推薦されたもの。

### 4. 選考

会員諸氏の推薦等を考慮しつつ、公表されたメンバーより構成される学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

### 5. 授賞

2012 年度臨時総会において授賞式を行う。

### 6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞（奨励賞）応募（推薦）用紙」（所定の書式はないが、A4 判横書きが望ましい）を 7 月 20 日（金）までに必着で郵送ないしは電子メールにて送付すること。受信したことは連絡する。

なお、応募者・推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を明らかにする範囲で、匿名での推薦過程・事情には一定程度言及することがあり得るので、責任をもって推薦すること。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名，論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 応募（推薦）者連絡先（電子メールアドレスを明記すること）
- e. 応募・推薦理由

### 7. 応募・推薦先

- ・ 郵送：〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1  
桃山学院大学経営学部 山本順一 気付  
日本図書館情報学会学会賞選考委員会
- ・ 電子メール：june01@andrew.ac.jp（学会賞選考委員長宛）

## 委員会・事務局より

### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。(編集委員会)

- ・投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・投稿規程：[http://www.jslis.jp/journal/c\\_reg\\_100301.pdf](http://www.jslis.jp/journal/c_reg_100301.pdf)
- ・執筆要綱：[http://www.jslis.jp/journal/w\\_out\\_100601.pdf](http://www.jslis.jp/journal/w_out_100601.pdf)

### 学会ウェブサイト・メールアドレスについて

国立情報学研究所「学会情報発信サービス」が2012年3月に終了となったのに伴い、本学会のウェブサイトは別のサービスに移行しました。また、新ドメインの取得に伴い、委員会・事務局のメールアドレスも新しくなりました。(総務委員会)

- ・学会ウェブサイト：<http://www.jslis.jp/>
- ・国際委員会：[intl@jslis.jp](mailto:intl@jslis.jp)
- ・研究委員会：[kenkyu@jslis.jp](mailto:kenkyu@jslis.jp)
- ・総務委員会：[somu@jslis.jp](mailto:somu@jslis.jp)
- ・編集委員会：[journal@jslis.jp](mailto:journal@jslis.jp)
- ・事務局：[office@jslis.jp](mailto:office@jslis.jp)

### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。講読・掲載希望の方は、総務委員会まで電子メール ([somu@jslis.jp](mailto:somu@jslis.jp)) にてご連絡ください。(総務委員会)

### 会員情報変更・退会について

住所等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更届」([http://www.jslis.jp/membership\\_3.html](http://www.jslis.jp/membership_3.html)) にご記入いただき、事務局までお送りください。退会については特に書式はありませんので、退会理由を併記のうえ、事務局までご連絡ください。なお、5月末日(必着)までに届出があった場合には、前年度末での退会として取り扱います。

なお、前年度中に会員情報変更・入会・退会の届出・申請をいただいているにもかかわらず、異動情報として反映されていないなど、不備・不足等がある場合には、大変お手数ですが、事務局(下記)までお知らせいただければ幸いです。(事務局)

### 会費納入について

2011年度までの会費が未納の場合は、下記口座までご納入をお願いいたします。(事務局)

- ・ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
- ・ゆうちょ銀行 支店=019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 学会受領資料

- ・青柳英治『専門図書館の人的資源管理』勉誠出版、2011
- ・金沢みどり『生涯学習社会における情報活用能力の育成と図書館』学文社、2012

- ・ 小林卓，野口武悟共編『図書館サービスの可能性：利用に障害のある人々へのサービス その動向と分析』日外アソシエーツ，2012
- ・ 三輪眞木子『情報行動：システム志向から利用者志向へ』（ネットワーク時代の図書館情報学）勉誠出版，2012

会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

なお，誌幅の都合等により，上記には図書のみを挙げております（著者名の五十音順）。逐次刊行物等については次号以降に掲載予定です。 (事務局)